

2020 年度 第 7 回 CIM チャンピオン養成講座 開催報告

2020 年 12 月 12 日
CIM 研究会 事務局

2020 年 12 月 12 日、オンラインにて第 7 回 CIM チャンピオンを開催しました。今回は、15 社 28 名の技術者の方に参加していただきました。誠にありがとうございました。

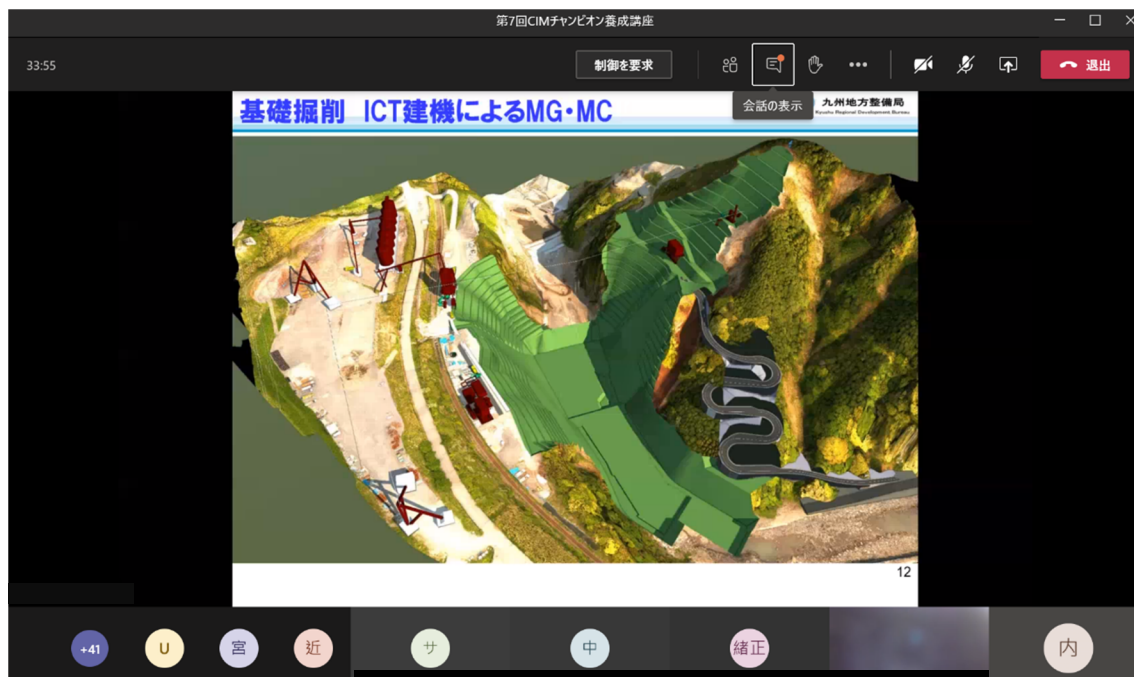


はじめに、国土交通省九州地方整備局立野ダム工事事務所 染矢晃氏より「立野ダム事業における CIM モデルの活用事例」と題して、ご講演いただきました。講演では、立野ダムにおける CIM の導入による業務の効率化についてお話いただきました。

立野ダムでは、施工段階における CIM 高度活用を実施することで、生産性向上だけでなく、流水型ダムに特化した管理方法や、阿蘇にふさわしい風景の創出に貢献しました。

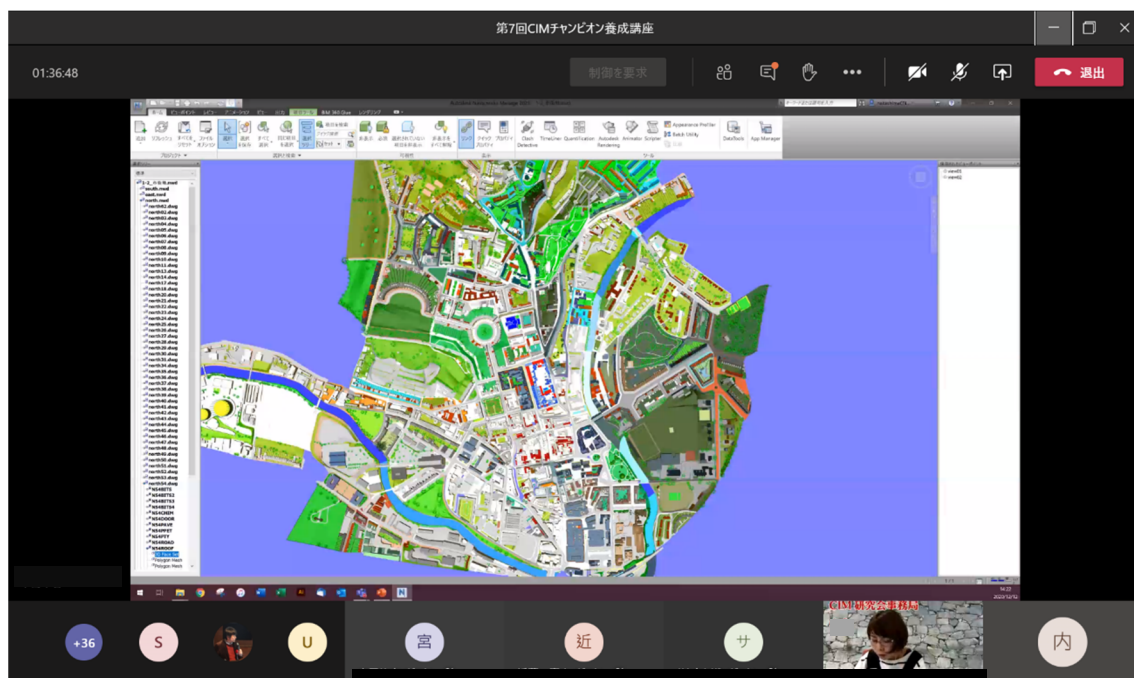
実際の業務においては、CIM を用いることで丁張りの設置の省力化を図り、作業時間や作業員の縮減につながったそうです。またこれだけでなく、立野の仮設備ヤードが狭いという問題点では、最適な仮設備の配置についての検討を三次元で行うことで、イメージの共有に役立てたそうです。特に今年はコロナ禍により、リモート作業が増えたことで、拘束時間と CO₂ 排出量の削減できたことを伺いました。

最後に、BIM/CIM は生産性向上効果が期待される一方で、使い方次第では生産性を下げる恐れがあることが課題として挙げられ、国土交通省では、限られた労働力で生産性を最大限に高め、効率化を図る取り組みを実施する方向であるそうです。

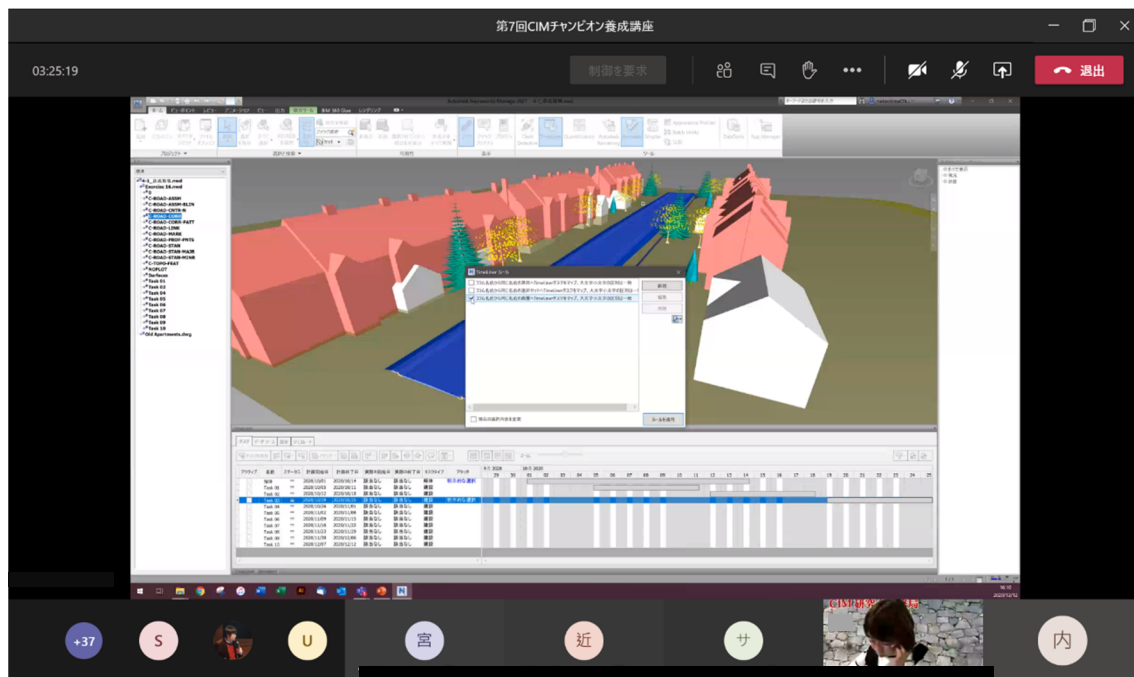


講演の発表の様子（MS Teams 画面）

講演後は演習に移りました。今回は Navisworks、一部 Revit の演習でした。様々なソフトウェアで作成された 3D モデルの統合、地形と点群の断面化、アニメーションの作成、干渉チェック、工程シミュレーション等を演習しました。また演習の最後に Revit モデルを使った工程シミュレーションについて学びました。



Navisworks によるイギリスの市街地モデルの様子



Navisworks による 4D 工程シミュレーションの様子

今回は皆様のご協力もあり、スムーズに講演と演習を実施することができました。誠にありがとうございました。演習の際に聞けなかった質問や疑問等ございましたら、KOLGで検索し、お気軽に投稿してください。

次回の CIM チャンピオン養成講座は、1月23日（土）になります。次回は熊本大学大学院特任教授 小林一郎様よりご講演頂く予定です。演習では InfraWorks、Civil 3D、Navisworks を実施する予定です。KOLG にて案内しますので、しっかりと確認し、事前の準備をお願いいたします。次回も皆にお会いできるのを楽しみにしています。

(担当：鯨坂健太)